

特定非営利活動法人みなと障がい者福祉事業団 令和6年度事業計画

1 基本理念

特定非営利活動法人みなと障がい者福祉事業団（以下「事業団」という。）定款第3条を踏まえ、事業団は基本理念を次のように掲げています。

障害者がサービスの受け手から担い手となるように支援し、就労や社会参加を通じて、自らが社会の一員であるとの誇りや自信を持ちながら生活を送り、区民・企業・行政とが協力しあい、共に支え合う地域社会の実現をめざします。

2 経営目標

事業団は、今後も現在の経営状況を維持しながら、事業団の役割である障害者就労支援の更なる推進に努める必要があります。将来に向かって目標を明確にし、職員全員が常に目標を持ち、共有しながら就労支援に取り組むため、今後3年間の経営目標を定めます。

利用者をはじめ、地域に根差した活動をしている多くの企業や関係団体との絆を深め、就労を希望する障害者の誰もが、職業を通じて社会参加できる地域共生社会の実現をめざします。

3 計画年度ごとの方向性

経営目標の達成をめざし計画的に事業を運営するため、年度ごとの取組の方向性を定めます。

令和6年度 組織の安定化

固有職員による新たな組織での事業運営を軌道に乗せることで、安定した組織体制、経営基盤を確立します。



令和7年度 新たなネットワークの構築と関係強化、情報発信・PR強化

地域における就労支援事業の拠点として、地域の様々な企業や商店街、近隣の社会資源等と共に障害者を支援する体制を強化します。



令和8年度 区や関係機関、企業や地域等と連携した新たな取組の実施

新たに構築した地域とのネットワークを活用し、地域において障害者を支援する新たな取組を積極的に実施します。

4 令和6年度の重点取組

事業団の強みを利用し機会を活かすことで、更なる事業の推進を図ります。

重点1 区と連携した就労支援事業の充実

- 就労アセスメントの受入れ（はばたき）
- 超短時間雇用の働きかけの強化（トロア、かもめ、福祉売店、受付）
- 実習経験者を一般就労に繋げる（インターンシップ）

重点2 区内企業等と連携した革新的な障害者雇用の実践

- 企業見学会の実施（はばたき、A清掃）
- 地域との連携による就労準備プログラムの改善（はばたき）
- 外部研修への参加、企業の好事例を取り入れたマニュアルの整備（A清掃）

事業団の強みを活かして脅威を避けるほか、脅威もチャンスに変える取組を進めます。

重点3 就職困難者を積極的に受け入れる就労支援事業

- 特別支援学校在校生向け事業所体験会の実施（はばたき）
- 就労支援センターかもめと連携した職場体験機会の提供（カフェ・ドゥー）
- 就職困難者など特別な支援を必要とする区民の受入れ（インターンシップ）
- 生活面を支援する講座の実施（A清掃）

重点4 事業団の認知度を高める積極的なPR活動

- 新商品の開発・提供（カフェ・ドゥー）
- 区役所等での出張販売の再開・季節感のある商品の提供（トロア）
- SNS等による広報活動の展開（福祉売店）

弱みが原因で機会を逃すのではなく、弱みを補い機会を活かす取組を進めます。

重点5 ICT・DX化の推進による働き方改革

- クラウドシステム（人事・経理・会計）を活用した業務効率の向上（事務局）
- システム導入による記録作業の時間短縮、相談時間の創出（相談支援）
- 事業紹介動画の作成、オンライン面談の積極的な活用（かもめ）

重点6 人材育成に関する取組強化

- 相談支援従事職員の育成（相談支援）
- 人材育成方針及び研修計画に基づく研修等の実施（事務局）

弱みを理解し、脅威による影響を最小限にできるように取り組みます。

重点7 職員の処遇改善、人材確保の取組強化

- 定年制の延長の検討（事務局）
- ハラスメント防止やメンタルヘルスの取組の強化（事務局）

重点8 精神・発達領域の支援体制構築

- 相談支援事業所連絡会での情報収集、外部研修の受講（相談支援）
- 精神障害者支援センターや発達障害者支援室との連携（相談支援）

5 事業計画

就労移行支援事業（就労定着支援事業含む）		はばたき			
令和6年度の主な取組内容	<p>【新規利用者の獲得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数（年度内月平均利用者数）10人を実現します。 ・就職者数6人、就労定着利用者数4人を実現します。 ・夏季期間 <input type="checkbox"/> 特別支援学校在校生向け事業所体験会の実施 重点3 ・通年 <input type="checkbox"/> PR活動（X(旧 Twitter)の更新など） 重点4 <p>【地域と連携した就業体験、就労準備プログラムの改善】 重点2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労準備プログラムに地域企業の職場見学を取り入れます。 ・通年 <input type="checkbox"/> 求職者の職場や地域の企業・商店街等の見学を実施し、つながりを増やしていくとともに利用者の職業イメージを広げる <input type="checkbox"/> 就労準備プログラムの改善 <ul style="list-style-type: none"> ・教材の検討及び導入、地域との交流の機会提供、法人内他事業所での職場体験 ・半期毎 <input type="checkbox"/> 就労準備プログラムの内容検証 <p>【障害者総合支援法改正に伴う新規事業「就労選択支援事業」の実施準備】 重点1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労選択支援事業の実施に向けて準備を開始します。 ・通年 <input type="checkbox"/> 就労アセスメントの受入れ <input type="checkbox"/> 研修受講、調査・研究 				
	就労移行支援事業利用者数	10人	収支計画	収入	2,469万円
	就職者数	6人		支出	2,100万円
	就労定着支援事業利用者数	4人		差引	369万円

就労継続支援A型事業			カフェ・ドゥー			
令和6年度の主な取組内容	<p>【就職者】就職者1人を実現します。重点3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かもめや企業と連携し、社会参加に向けた体験機会を提供します。 <p>上半期 かがやき内事業所での職場体験の検討実施と企業見学会の検討実施 通年 かもめと連携した就職活動や職場体験会の情報提供</p> <p>【魅力ある店舗運営】年間売上目標の900万円を達成します。(月平均75万円) 重点4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知度向上のため、生涯学習センター等と連携しイベントを開催します。 ・原価率を考えながら、利用者の意見を取り入れ、簡単に作れるメニューを開発します。また、売上を伸ばすための方策を利用者と一緒に考えます。 ・店内や身だしなみの清潔さを徹底し、快適な店舗をつくります。店内外に貼るポスターなどを新たに作成します。事業団と生涯学習センターX(旧Twitter)を活用し、PRを行います。 ・事業団全体で協力しながら、十分な売上が見込まれるイベントには積極的に参加します。イベントへの参加により利用者との交流や公共の場でのマナーなどを身につける良い機会とするとともに、店舗や事業団の情報発信を行います。 					
	数値目標	利用者数	5人	収支計画	収入	2,539万円
		就職者数	1人		支出	2,864万円
		年間売上	900万円		差引	▲325万円

就労継続支援A型事業			トロア			
令和6年度の主な取組内容	<p>【利用者数】利用者5人を達成します。重点1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者の支援を丁寧に行うため、現在の利用者の利用日時と職員の勤務体制を工夫します。ネットワーク会議やインターネットでの広報活動を通じて事業所の広報を行い、新規利用者を獲得します。利用者に超短時間雇用など多様な働き方を案内します。 <p>【利用者支援】利用者にステップアップのきっかけを提供します。重点3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かもめと連携し、面接会や体験実習などへの参加を支援します。かがやき内他事業所での就業体験を提供します。 <p>【売上目標】1日当たり売上2万円、年間売上目標480万円を達成します。重点4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規顧客の獲得や常連客を飽きさせないための新商品を検討します。 ・区役所等での出張販売を再開します。 ・利用者の意見を取り入れた季節感ある商品を提供します。 					
	数値目標	利用者数	5人	収支計画	収入	1,338万円
		就職者数	1人		支出	1,243万円
		年間売上	480万円		差引	95万円

就労継続支援A型事業			センター清掃／南麻布清掃洗濯		
令和6年度の主な取組内容	<p>【利用者の一般就労】就職者1人を達成します。重点2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の作業能力向上のため、外部研修や企業等の好事例を取り入れ、作業マニュアルを再構築します。 ・東京ビルメンテナンス協会の講習会等への参加を継続し、利用者の作業スキルの向上を図るとともに、就労意欲の向上をめざします。 ・企業（近隣のホテル等）への見学会を実施することにより、就労意欲、スキルアップへの意識向上を図ります。 <p>【生活面を支援する取り組み】重点3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の社会的自立や生活の質向上のため、生活面を支援する講座を実施します。（金銭管理、余暇の過ごし方、公共の場でのマナー、相談窓口の利用方法など） 				
	数値目標	センター清掃			
利用者数		7人	収支計画	収入	3,246万円
就職者数		1人		支出	2,319万円
—		—		差引	927万円
南麻布清掃					
利用者数		6人	収支計画	収入	3,248万円
就職者数	1人	支出		2,611万円	
—	—	差引		637万円	

相談支援事業			相談支援		
令和6年度の主な取組内容	<p>【利用者の獲得】重点6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関やかまめと連携し、ケース会議の実施などを通じた情報共有（横の繋がり）により、新規利用者を獲得します。 ・利用者の受入れ体制を強化するため、初任者研修受講可能な職員への研修受講を推進し、相談支援に従事できる職員を育成します。 <p>【相談支援の充実・質的向上】重点8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催される相談支援事業所連絡会での情報収集や外部研修を受講するなど、スキル向上を図ります。 ・精神障害者支援センターや発達障害者支援室との連携により、精神・発達領域への支援力の強化を図ります。 <p>【事務改善による効率化の推進】重点5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム導入により煩雑な業務を簡略化するとともに、モバイルPCやタブレットを活用し、面談や記録作成にかかる作業時間を短縮することで利用者支援を強化します。 				
	数値目標	対象利用者数	96人	収支計画	収入
1月当たりの利用者数		25人	支出		767万円
—		—	差引		▲251万円

令和6年度の主な取組内容

【新規登録者】 広報活動を強化し、新規相談者数50人を達成します。

- ・精神、発達障害者を対象として、新たに港区内の精神科クリニック、デイケア、区内の就労移行支援事業所にアウトリーチを行います。

【就職者】 就職者数30人を達成します。

- ・はばたき、カフェ・ドゥー、はなみずき等を活用し、法人内で就労アセスメントを実施できる仕組みづくりに着手します。
- ・企業に対し、障害者雇用の内容、価値、意義や社会的責任についての理解を促進する取り組みを構築します。**重点1**
- ・登録者リストにある求職者への再アセスメント及びニーズ把握を実施した上で、求人案件の情報提供を行います。

【安定した就労をめざす】 専門性の強化により、就職定着率95%を達成します。

重点2 重点6

- ・職業専門性を高めるため、すべての支援員が職場適応援助者の資格を取得します。
- ・アセスメントやマッチングのスキルアップを図るための研修を受講します。
- ・定期的なケース会議開催による支援者の資質向上やスキルの共有化を図ります。
- ・応募者の就労準備性を高める支援に加え、採用企業の担当者に適切なアドバイスを提供することで、ミスマッチや離職を防止します。

【超短時間雇用への取組】 超短時間雇用による就職者数10人を達成します。

重点1 重点2

- ・超短時間雇用案件のマッチングの精度向上により、希望者を確実に超短時間雇用案件の就職に繋げます。かもめの広報活動・営業活動の一環として、東京大学先端科学技術研究センター並びに特定非営利活動法人ピープルデザイン研究所と連携してフォーラムなどを開催し、超短時間雇用の理解促進に取り組みます。また、区内関係機関と連携し、広く候補者を募集します。

【業務改善】 業務の効率化によるコスト削減と働きやすい職場づくりをめざします。

重点5

- ・支援記録のシステムを活用して、事務の効率化を図ります。
- ・オンライン訪問件数を増やし、事業紹介映像を作成、活用します。

【その他】

- ・参加者の意向を反映した魅力ある企画や参加しやすい企画を立案することで、余暇活動の参加者数増に繋がります。
- ・就労支援ネットワーク会議参加事業所に対して、企業見学会や支援者向け研修会を開催します。

数値目標	新規相談者数	50人	収支計画	収入	4,633万円
	就職者数	30人(超短時間雇用10人除く)		支出	3,741万円
	就職定着率	95%		差引	892万円

※収支計画はインターンシップを含む

障害者就労援助事業		インターンシップ			
令和6年度の主な取組内容	<p>【新規実習生】新規実習生5人を実現します。重点3</p> <p>募集前 HPやX(旧 Twitter)の活用、区内関係機関等への募集案内配布、広報みなど、キスポーツ掲載によるPR活動を展開します。また、かもめと連携して区内事業所への声かけや、就職困難者など特別な支援を必要とする区民のインターンシップ受入れにも積極的に協力します。</p> <p>【就職者】実習経験者3人を一般就労へ繋げます。重点1</p> <p>各月 かもめ支援員の実習振り返り時の同席や、実習生の所属先との連携による就労支援を展開します。また、かもめに未登録の場合は新規登録を推奨し、積極的に一般就労や超短時間雇用の働きかけを行うとともに、他の社会資源に繋げる支援も行います。</p> <p>【就労体験の充実】実習効果をより高めます。</p> <p>各月 本庁舎のプリンターの水やりやデータ入力等のPC業務など、個々の能力に合わせた業務を確保します。また職域拡大として、令和5年度の障害者福祉課や教育センターでの受入れ事例を元に、令和6年度も就労体験の場を広げる取り組みを行います。</p>				
	数値目標	新規実習生	5人	収支計画	収入
	実習経験者就職者数	3人	支出		-
	-	-	差引		-

障害者就労援助事業		共同受注			
令和6年度の主な取組内容	<p>【区内事業所受注件数及び受注額】受注件数130件 受注額1,500万円を実現します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPやX(旧 Twitter)を活用した周知広報活動により事業所や商品のPRを強化します。 ・やりがい、働きがいを感じられる受注に繋げるため、生産者と消費者を近づける取り組みを実施します。 ・複数の事業所が共同で受注できる仕事を調整します。 				
	数値目標	区内事業所受注件数	130件	収支計画	収入
	区内事業所受注額	1,500万円	支出		2,290万円
	-	-	差引		406万円

障害者就労援助事業			福祉売店はなみずき			
令和6年度の主な取組内容	<p>【就職】かもめ(超短時間雇用を含む)との連携により、就職者1人をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 個別支援計画の振り返り・スタートの開始面談 ・8月～9月 半期の取組及び目標の見直しのモニタリング面談(就労支援員同席有) ・1月～2月 半期の取組及び目標の見直しのモニタリング面談(就労支援員同席有) <p>【認知度を高める取組】重点4</p> <p>ラウンジ等を活用した利用団体が参加する販売会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主にラウンジで開催される集客力の強いイベント等に合わせ、利用団体が参加する販売会を開催します。 ・行事やイベント等へ参加するとともに、広報活動を積極的に行います。 <p>IT等を活用した商品・事業所等の広報活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が中心となって、SNS等を積極的に活用した広報活動を展開します。 <p>【職能訓練等の場としての活用、利用者の獲得】重点1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かもめとの情報共有により、在宅や訓練の必要性の有無が定まっていない区民に対して、就労前の職能評価の場として活用します。 ・各支援機関等への周知・広報活動を行い、体験実習の場としての活用を勧め、利用者獲得に繋がります。 					
	数値目標	新規利用者	1人	収支計画	収入	1,020万円
		就職者数	1人		支出	872万円
		年間売上	300万円		差引	148万円

障害者就労援助事業			(障害保健福祉センター) 受付案内			
令和6年度の主な取組内容	<p>【目的、目標の明確化】半期に一度の定期面談を実施します。</p> <p>上半期 区内事業所や障害保健福祉センターに対して、受付業務が職場体験プログラムとして活用できることについて情報提供を行います。業務従事者を循環させるためのシステムを検討し、欠席者の代替を職員が補っている現状の改善を図ります。定期面談を実施することで、現在の利用者の利用目的や今後の希望などを明確化します。</p> <p>下半期 定期面談を半期に1度実施することで、今後の意向を確認し、「自分の将来」、「働くこと」について検討する機会を設定します。</p> <p>【就職支援】就職者及び就労への準備支援開始者1人を達成します。重点1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超短時間雇用の求人情報や区内の社会資源などの情報を提供し、本人のニーズに沿った次のステップを検討していきます。 					
	数値目標	新規利用者	2人	収支計画	収入	188万円
		就職者数	1人		支出	179万円
		—	—		差引	9万円

事務局		—			
令和6年度の主な取組内容	<p>【クラウドシステムの導入および運用】重点5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度末に導入したクラウドシステムの本格運用を開始するとともに、安定して効果的な運用を行うための業務改善を推進します。また、職員や利用者が戸惑わないように誰もがわかりやすいマニュアルを整備します。 <p>【労働条件の改善】重点7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定年制の延長の検討、ハラスメント防止やメンタルヘルスの取り組みの強化により、意欲を持って長く働き続けられる環境を整えます。 <p>【計画的な人材育成】重点6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成方針及び研修計画に基づく研修等を実施をします。 				
	数値目標		収支計画	収入	47万円
				支出	3,250万円
—		差引		▲3,203万円	

係活動	研修、広報、地域交流等
6年度の主な取組内容	<p>【職員研修】 (悉皆研修) 福祉専門職員及び組織の構成員として、基本的な倫理観や道德観を身に付け、法人の理念や考え方を共有することを目的として実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマは「個人情報取扱い」「接遇」「ハラスメント防止」「情報セキュリティ」「危機管理」の中から1年に1項目を選定します。 ・6年度は「情報セキュリティ」を選定します。(スマホ、タブレット、システム導入等、DX化を推進するため) <p>(階層別研修) 福祉専門職員としての専門性や組織性を学び、また今後のキャリアを主体的に描き、実践するための方法を学びます。</p> <p>(1) 基礎研修(年2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉及び障害者就労支援の専門性の向上を目的とします。 ・主任以上を除く職員を対象とします。(主任以上の職員も受講可) ・7月から10月の間で実施します。 <p>(2) キャリアパス研修</p> <p>①初任者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入職3年以内の職員を対象とします。 ・チームの一員としての基本を習得して、福祉職員のキャリアパスの方向性を学びます。 ・東京都福祉人材センター研修を活用します。 ・8月から10月の間で実施します。 ・令和6年度は2人受講します。 <p>②中堅職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入職概ね3年～5年の職員を対象とします。 ・担当業務を自立的に遂行し、後輩職員への指導、支援が期待される中堅職員として、求められる役割やキャリアアップの方向性を学びます。 ・東京都福祉人材センター研修を活用します。 ・11月から12月の間で実施します。 ・令和6年度は2人受講します。 <p>③チームリーダー研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームリーダーとしての役割を遂行するための基本を習得し、自らのキャリアアップの方向性を考えます。 ・主任以上を対象とします。 ・東京都福祉人材センター研修を活用します。 ・指導的立場での問題解決、リーダーシップ、職場の課題形成を重点テーマとして取り上げ、講義、演習を通して体験的に学びます。 ・5月～6月の間で実施します。 ・令和6年度は2人受講します。

④管理職員研修

- ・管理職としての役割を遂行するための基本を習得し、自らのキャリアアップの方向性を考えます。
- ・管理者を対象とします。
- ・東京都福祉人材センター研修を活用します。
- ・6月～7月の間で実施します。

【利用者研修】

就職に必要な知識やスキルを獲得し、様々な経験を得ることで、より豊かな生活を送ることを目的として実施します。

- ・事業団全利用者を対象とします。
- ・ハローワーク職員や特別支援学校教員、企業の方々から就職に必要な知識やスキルを学ぶ研修を実施します。
- ・はばたきプログラムへの参加（ポッチャ大会など）、メイク講習、料理、陶芸、絵手紙、おいしいコーヒーの淹れ方など豊かな生活が送れる研修を提案します。

【日帰り利用者研修旅行】

福利厚生の一環として、利用者の社会経験と見識を深めるとともに、利用者と職員の交流を目的に実施します。

【ホームページの大規模リニューアル】

情報の玄関口であるホームページを大規模リニューアルし、より見やすく、親しみやすく、事業団の魅力を伝えられるものにします。

- ・スマートフォンで表示可能なレイアウトに変更します。
- ・知りたい情報が得やすいように、目的のページにアクセスしやすい表示にします。
- ・「はばたきなう」などの定期的に挿入する情報は職員でも更新ができるようにし、素早く情報を発信します。

【X（旧 Twitter）での発信強化】

タブレットやスマートフォンを有効活用し、より即時性のある記事の投稿につとめ、事業団の知名度を高めます。

- ・記事をアップする際のルール徹底、周知をします。
- ・タブレットやスマートフォンから誰もがルールどおりに投稿できるよう、マニュアル作りや講習会を開催します。

【パンフレットの更新】

- ・パンフレットを更新し、事業団の理解促進と知名度を高めます。

【地域活動】

- ・芝浦及び海岸地域に自生する夏みかんを利用した地域コミュニティづくりへ参画します。収穫体験やマーマレード作りを通じて町会や他の福祉施設との交流を深めます。